

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0790401244		
法人名	株式会社ツクイ		
事業所名	ツクイいわき小名浜グループホーム		
所在地	福島県いわき市小名浜大原字原木田前198-1		
自己評価作成日	2021.3.9	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigo-fukushima.info/fukushima/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉ネットワーク
所在地	〒974-8232 福島県いわき市錦町大島2番地
訪問調査日	令和3年3月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

利用者が、グループホームで居心地良く生活できるよう、認知症のケアの基本をきちんととらえ、利用者一人ひとりの思いや意向を把握するための取り組みをしている。 利用者の尊厳やプライバシーを守ることは、管理者・職員としてのみならず、人としての基本であることを意識しながらの運営を行っている。
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	1F事務所と2F休憩室に掲示されており、朝礼時に唱和しております。	職員へのアンケートや、会議で話し合い認知症ケアをする上で、目指すこと、心がけることを掲げ作成している。利用者に関わる中で、念頭におき、ケアの基本を身に着けて対応している。思いを聞き出し、意思疎通を図りながら実現できるように努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ボランティアの受け入れなどを通年であれば実施しているが、今年は新型コロナウイルスの影響もあり、思うように実施できておりません。	お祭りなどを開催するときには地域の方へしらせ、参加して貰っている。回覧板を通して、行事の情報などを得ている。中学生などの職業体験の受け入れ、定期的にボランティアの方々に来ていただき、演奏や歌などを聞かせて貰っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	毎日外に出て散歩をしていたが、今年度は新型コロナウイルスの影響で実施が困難な状況でした。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族や地域の民生委員、地域包括の職員や医療関係者へ開催の内容を報告し、サービス向上に努めている。現在は直接集まることの開催が難しく、書面での報告となっております。	家族から感謝の気持ちを貰い、コロナ禍でリモートでの面会の希望があり、実施しているが、電話で話すことが多い。利用者の状況は写真を送り、家族の気持ちを深く知り、利用者への支援に活かしていきたいと考えている。現在の運営状況や取り組みを話している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	当事業所の状況をお伝えし、介護保険制度や運営、サービス内容について、直接訪問したりお電話などで相談しております。	メールなどで定期的に情報を受け取り、介護保険制度や研修会・講習会に参加できるようにしている。地域の包括支援センターの担当者と連携を取るよう心がけ、地域の情報や適切なアドバイスを貰えるようにしている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を通し、研修や会議を持ち、拘束のないケアに取り組んでいます。	法人として、身体拘束はしないとしている。言葉の拘束について、忙しくなる時間に聞かれることがあり、職員に話をし、理解してもらうよう働きかけている。一人歩きする方には、危険がなければ確認しながら好みに歩いて貰い、職員と一緒に歩くなどに対応している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	定期的に会議や研修を開催し、虐待につながる厚意をしないよう職員へ周知しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	パンフレットを見て学習してもらい、必要時に活用できるようにしております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約や変更時などご家族へご説明し、ご理解を頂いております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関の意見箱に設置。 随時ご家族からの要望を受け付けており、お電話でご連絡を頂いた際にお答えし、今後に反映できるよう努めております。	感謝の言葉を貰っている。現在は書面でのやり取りが多く、なるべく本音を聞き出したいと思い、電話の時など機会を見つけて、引き出すよう心掛けている。意見や要望を活かすために、具体的な意見が聞けるよう取り組んでいこうとしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員との個別面談や職員会議などで意見や提案を聞き、反映できるよう努めております。	意見や提案があり、災害時の備品準備や水の確保など、震度5以上の時はお風呂に水を溜める、大雨時は2階へ避難させるなどに取り組んでいる。職員から資格取得や研修会への参加の要望があったときは、参加できるよう対応している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員との面談を通し、意見や提案を聞いて、可能な限り努力しております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月の会議の中での研修の他、内部リモート研修に参加する機会を設けております。また、組織体制を盤石にすることを念頭に置き、職員に役割を持ってもらうことで責任感と自主性の向上ができるよう努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH協議会や直接のお電話でのやり取りなどで、情報を交換し、サービスの質の向上に努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居されるご本人やご家族からの様々なことを聞き取りし、それを基にニーズを把握し、職員間で情報共有を行なっております。さらにご本人の不安や要望に対応できるよう努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	GHIにお預けになるご家族の複雑な心境が吐露できるような信頼関係を築き、要望にお応えできるよう努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	いま必要なことは何か、優先すべき支援を見極め、対応に努めております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	アセスメントやカンファレンスなどでの情報を基に、ご本人の得意分野や興味を持っていることなどを引き出し、楽しく穏やかに生活できる環境が提供できるよう努めております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人とご家族との関係を大切にし、できる限り連絡を取り合いながら、共に安心できるよう努めております。また共に支え合う関係性を築く努力をしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	新型コロナ以前はご家族や友人知人の方々から来所され、開放的な環境が保たれておりましたが、現在は面会が難しい状況です。リモートやお電話でのやり取りは積極的に行なっており、交流を研ぎらせないよう努めております。	事業所主催のお祭りへ馴染みの方に呼びかけ参加して貰えるようにしている。馴染みの人が面会に訪れた時は、事業所で確認できる方に面会して貰っている。理美容室の方に来て貰ったり、家族が行きつけのところへ連れていき散髪される方もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お一人お一人の発言力や行動など把握し、配席にも考慮しながら、楽しく穏やかに過ごせるよう努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご逝去されたお客様のご家族には、グリーンケアなどの研修を通し、お気持ちに寄り添いながら支援するよう努力しております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々お客様と関わる中で、お一人お一人のお気持ちに寄り添い、そして思いを汲み取り、会議やカンファレンスを通して、お客様の生活に反映できるよう努めております。	ふとしたときに利用者と話すことで思いを聞くようにしている。料理をしていた、計算が好き、お掃除もしたいと言っているのを、気持ちよくできるようにしている。職員記録や申し送りで利用者の反応も含めて伝え、皆で取り組めるように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	実調で伺った際に、ご本人やご家族、担当されていたCMやSWから情報を聞き取りし、把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の関わりの中で、ご本人の状態や反応などを記録に残し、申し送りやカンファレンス等で情報共有や現状把握に努めております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族の要望、主治医の指示、日々の関わりでの気づきや毎日の記録から、意見を反映し、介護計画書を作成しております。	その人の持っている力を活かしたり、維持できるように、プランの中に取り入れ、日々の生活の中で取り組めるようにしている。状態変化があった時には、必要に応じて計画書の変更を行なっている。訪問診療の、医師や看護師に状況を伝え、意見を聞くようにしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々お客様と関わる中で、実施したことや気づきを記録し、朝夕の申し送り時に情報共有を図っております。内容を確認し、見直しを行ない、計画書に活かす努力をしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況に応じてその都度対応し、固定観念を持たず、柔軟な考えや姿勢でお客様やご家族への要望にお応えするよう努めております。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	例年であれば地域行事などに参加させて頂いたり、ボランティアの皆様にも来て頂いたりして関わりを持てるよう努めております。新型コロナウイルスの影響で現在は思うように実施できておりません。			
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人やご家族のご希望、状況をお聞きし、主治医を決めております。都度、主治医に相談や確認をしながら支援させて頂いております。	協力医療機関には、利用者の状況を話し、受診するようにしている。歯科や耳鼻科などの専門診療科目は、家族か、状況に応じて職員が対応している。受診結果は、お互いに情報を伝え共有している。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	その都度、医療連携の看護職に連携を取り、情報の共有や、気づいたこと不安に感じたことなど相談しながら対応しております。			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主治医や看護師と密に連携を取り、情報交換や状態の把握に努めております。			
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に、見取りについて説明をさせて頂き、医療機関との連携を図り、ご本人やご家族のご意向を確認しながら取り組んでいます。	家族には医師や看護師の意見を踏まえ、状況を伝えられる限り会えるようにしている。本人や家族の思いを優先し、自分たちには何ができるのか、その都度考えながら対応している。住み慣れた所で最期まで安心して穏やかに生活できるよう家族等と協力している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修を定期的に行い、緊急時対応マニュアルで実践力を身に付ける努力をしております。			
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に火災や津波発生を想定した避難訓練を実施しております。非常食や水の確保も行ない、強い地震が起きた時にはお風呂に水を溜めております。	消防署の協力を経て、避難訓練を行っている。訓練後に、救命救急や避難方法などアドバイスを貰えるようにしている。職員は年に一度以上訓練に参加できるようにし、夜間と日中、災害などを想定し、年に2回実施している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お客様一人一人の人格を尊重し、認知症ケアに基づいた言葉かけをするよう努めております。	認知症が有ろうか無かろうか、管理者は尊重やプライバシーの確保は当たり前に行っていないと折に触れ伝えている。最初から行動を止めるような声掛けではなく、利用者が言いたいことが言えるように促すような声掛けをするよう努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お客様の思いやご希望が話せる雰囲気づくりを心掛け、できる限り自己決定できるよう働きかけております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	認知症ケアに基づき、お客様本位の支援を心がけており、お一人お一人のご希望に添えるよう努めております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう言葉かけをし、衣類などもご自分で選んでいただくなど、対応しております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お食事の準備や後片付けを、職員と一緒に行動していただき、役割を持つことでの生きがいと食の楽しみを持って頂けるよう努めております。	メニューは食材を運んでくる業者に決められて貰い、それに応じて作っている。一人ひとりの食べる力に合わせて調理し、なるべく自分で食べて貰うようにしている。職員も利用者と同じものを一緒に食べている。事業所に菜園があり、季節の野菜を作っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量や水分摂取量などは観察して記録に残し、状態に応じて言葉かけをしながら対応しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	お客様一人一人の状態に応じ、ご自分でできることは行なって頂き、介助が必要な際には言葉かけをしながら対応しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排せつチェックを行い、個人個人の排せつパターンを知り、それに合わせながら声掛け誘導しております。	本人の状態を観察し、定期的な声掛けや本人の訴え時に誘導するなどしている。入院した際にオムツになった方が、退院後リハビリパンツになった方がいる。排泄に失敗してしまった時は、とがめることは絶対にせず、あまり気にないように声掛け対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量を把握し、毎朝乳製品の提供を行っております。運動不足になりがちなので、日々レクリエーションの一つに取り入れ、便秘解消に努めております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	できる限りご本人のご希望に沿いながら、毎月変わり風呂を計画し、季節を感じ楽しく入浴して頂けるよう努めております。	入浴を嫌がる方には、入浴とわかってしまうと頑なに拒否されるので、用事があるので来て頂いてもいいですかと聞いて、誘導したりしている。いろいろな入浴剤を活用したり、利用者の好みの湯温に近づけるよう対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お客様の状態に合わせて、安心して眠られるよう努めております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	用法について理解し、お客様の状態変化時や服薬変更時には、申し送りノートなどを活用しながら、情報共有しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	レクリエーションや脳トレ問題などを行ない、お客様全体でできること、個人的にできることを把握し、楽しみを持ちながら生活できるよう工夫している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	新型コロナウイルスの影響で、現在は外出支援が思うようにできておりません。次年度からは世の中の状況を見ながら、外出ができるよう努めていく予定です。	朝に散歩を取り入れ、外の空気や光を浴びるようにしている。行事で出かけるときは、利用者の状態や体調に注意し、薬やバイタルチェック用の備品も準備し、安心して出かけるようにしている。。花見や紅葉狩りは恒例行事で、今年はドライブから再開したいと考えている。	

自己	外部	項目	外部評価	
			自己評価 実践状況	実践状況 次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人のご希望とご家族と話し合い、都度対応しております。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人希望時に支援しております。	
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた装飾や、お花やイベント時のお写真を掲示しております。またお客様が好まれる音楽を流すなど工夫しております。	顔なじみの利用者と一緒にするようしたり、トラブルにならないよう、席を変えたりしている。利用者が通る場所や空間に余計なものは置かず、安全に歩けるよう導線確保に努めている。職員が感染の媒体にならないよう手指消毒やうがい、予防接種などを実施している。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	日当たりのいい場所にはソファを置き、くつろげる空間作りに努めております。また仲の良いお客様同士でお話ができるような配席を行ない、楽しく過ごして頂ける工夫をしております。	
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室、或いは泊まりの部屋は、プライバシーを大切にし本人や家族と相談しながら、居心地よく、安心して過ごせる環境整備の配慮がされている。 (グループホームの場合)利用者一人ひとりの居室について、馴染みの物を活かしてその人らしく暮らせる部屋となるよう配慮されている。	ご本人やご家族のご意向を聞き相談しながら、居室の配置を行なっております。なじみの家具なども持ち込んでいただき、居心地の良い空間となるよう配慮しております。	身体状況に合わせて、ベッドなど家具の配置をその人に合わせている。自分の居室を間違わないよう一緒に居室まで誘導したり、分からないときはその都度伝え判って貰えるようにしている。清掃や衣替えは、居室担当が行ない、整理整頓している。
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お客様一人一人の残存機能を生かし、お茶がいつでも飲めるようセットしてあり、トイレや自室がわかるよう工夫し、可能な限りご自分の力で自立した生活が送れるよう支援させて頂いております。	